

令和 6 年 3 月 定例会

予算委員会
全体会会議録
(新年度・その 2)

3 月 1 8 日 (月)

○日時 令和6年3月18日（月）

○場所 議会棟2階 議場

○付議事件 議案第20号 令和6年度防府市一般会計予算

○出席委員（22名）

委員長	橋本龍太郎
副委員長	森重 豊
委員	青木 明夫
委員	今津 誠一
委員	上田 和夫
委員	宇多村史朗
委員	梅本 洋平
委員	河杉 憲二
委員	河村 孝
委員	久保 潤爾
委員	清水 力志
委員	曾我 好則
委員	高砂 朋子
委員	田中 健次
委員	藤村こずえ
委員	松村 学
委員	三原 昭治
委員	村木 正弘
委員	安村 政治
委員	山田 耕治
委員	吉村祐太郎
委員	和田 敏明

○欠席委員

委員	石田 卓成
----	-------

○討論に出席した者（１３名）

教育長	江山 稔
総務部長	白井 智浩
総合政策部長	永松 勉
文化スポーツ観光交流部長	杉江 純一
生活環境部長	金澤 哲
健康福祉部長	石丸 典子
産業振興部長	藤井 一郎
土木都市建設部長	石光 徹
会計管理者	廣中 敬子
教育部長	高橋 光男
議会事務局長	寺畑 俊孝
消防長	米本 静雄
上下水道事業管理者	河内 政昭

○出席書記 秋里 あゆみ

午前１０時 開会

○橋本委員長 おはようございます。ただいまから予算委員会を開催いたします。
本日、欠席の届けのありました委員は、石田委員でございます。

議案第２０号 令和６年度防府市一般会計予算

○橋本委員長 それでは、これより議案第２０号令和６年度防府市一般会計予算についての審査を行います。

委員の皆様におかれましては、分科会での御審査、大変お疲れさまでした。各分科会主査から、分科会において審査した結果、全体会で審査すべき事項はない旨の報告を受けております。したがいまして、主査報告に対する質疑は省略し、議員間討議を行います。どなたかございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○橋本委員長 ないようでございますので、議員間討議を終結し、討論を求めます。

○清水委員 議案第２０号令和６年度防府市一般会計予算について、反対の立場を表明いたします。

令和6年度の予算は、595億6,000万円と過去最大規模となっております。その中には、これまで市民の皆様から要望が多かった子どもの医療費を高校卒業まで無償化する事業や、小中学校のトイレの洋式化などが含まれております。

また、年初に起きました能登半島地震の災害や、市内でも昨年の大雨における被害を踏まえ、さらなる防災対策に取り組まれていることについては高く評価をいたします。

しかしながら、このような取組が進む中で、これまでの行政改革による職員数の減少は深刻で、業務量のバランスは取れているのか、残業が慢性的になっていないか、また、そういったところから職員の健康を壊すようなことが起きていないかなど危惧しており、もっと正規職員の増員を図らなければならないと考えております。

それと、政府は今年の12月2日より、現行の健康保険証を停止してマイナンバーカードと健康保険証を一体化したマイナ保険証に移行するとしております。

マイナンバーカードを持たない人に対する対応もお聞きしましたが、それに伴い市の事務負担などの増加は避けられないものと考えます。このたびの新年度予算では、市民要望を幾つか積極的に取り入れた事業も予算化されておりまして、この点では大変評価をいたしますけれど、以上、述べた点で一般会計予算には賛成しがたいとして討論をさせていただきます。

以上です。

○松村委員 ただいま議題となっております議案第20号令和6年度防府市一般会計予算につきまして、「防府一番」は賛成の立場で討論いたします。

本予算は595億6,000万円という過去最大予算となっております。防府市の未来を大きく築く主要な予算がたくさん散りばめておられまして、また、高校生まで医療費無料の予算も入っておりまして高く評価しております。

ただ1点、がんばる地域応援事業につきましては、この予算は議会の中でも、高齢者等々で青線赤線の管理ができないということで、市長もパイロット的な事業として編成するというので答弁もありまして、この事業が誕生したと思っております。執行にあたりましては、この辺のところを十分配慮して執行していただくよう要望しまして賛成の討論といたします。

○村木委員 議案第20号令和6年度防府市一般会計予算に対し、「公明党」として賛成の立場で討論をいたします。

令和6年度は、令和7年度までの第5次防府市総合計画の目標達成のための重要な年であり、新庁舎建設や広域防災広場整備、新たな道路網整備など、着実な推進が必要です。

その上で、公明党が要望してまいりました防災・減災のさらなる強化をはじめ、妊娠前

から子育てまで切れ目のない伴走型支援の充実、長引く物価高による物価高騰対策、さらには運送業者や福祉分野、教育分野、自治会活動にまで大きな影響がある人手不足対策等、時代の要請にも応じ、市民生活に対し少しでも不安を取り除き市民の安全・安心を主眼にした点を高く評価いたします。

令和6年度予算は、大きな事業も予算化されておりますが、子どもたちから高齢者まで、1人1人が希望を持ち、未来を想定できるように市民目線での丁寧な周知とともに、安心して暮らしていける事業が多角的に執行されますよう要望いたしまして賛成討論といたします。

○山田委員 ただいま議題となっています令和6年度防府市一般会計予算について賛成の立場で討論させていただきます。

令和6年度の予算は、防府市の未来に向けてまちづくりや、子どもたちの支援をどうしたいのかをしっかりと目指す姿を描いた予算だと高く評価しております。

令和5年度の当初予算もそうでしたが、今回の令和6年度の当初予算も平素から一般質問等の要望の中で会派「絆」として提案してきた事業、また、企業からの要望やそこで働く方、その御家族も含めた意見、特に企業で働くお母さんの要望も多く盛り込んでいただいたことに感謝申し上げます。

個人的には、あのときの要望がこのような形で予算されているということが、この予算の中では随所に出てきております。本当に感謝申し上げる次第でございます。素晴らしい防府市の未来のために、引き続きよろしくお願いいたします。

防府市の未来、目指す姿を見据えた基本的な取組は賛成、期待をしていますが、事業を進める中で、今後の展開に対する要望を少し言わせていただきます。

まず、空き家の問題でございます。今回、新規事業の中で、空き家実態調査及び意識調査とあります。新規の新しい取組も御相談させていただいていましたので、一歩進んだ取組に感謝いたします。ただ、空き家の実態調査や、市民等からの情報提供により把握している空き家のうち、特定空家等の認定になっていない空き家も多いように思います。地権者も含め、管理されていない空き家に対して、半年、1年と解決されていない空き家に対する対応も、しっかりと考えていただきたいことは要望させていただきます。

続きまして、通学路のカラー舗装についてですが、通学路の点検結果を受けてからのカラー舗装の要望も多くなっております。以前は、学校から500メートルの範囲でスタートでしたが、この条件に当てはまらない通学路の中で、車の離合が難しい狭い市道もあります。しっかりと保護者の皆さんの意見を聞いて、柔軟な対応をしていただきたいということを要望させていただきますので、委員会でも言わせていただきましたがよろしくお

願いいたします。

以上、要望も含めて会派「絆」としての賛成討論とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○上田委員 議案第20号令和6年度防府市一般会計予算に対して、会派「自由民主党」として賛成の立場で討論をいたします。

本予算は、第5次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」に掲げる新庁舎建設や、広域防災広場整備等、防災ネットワークの構築をはじめ、新たな道路網や競輪場の整備、こども家庭センターの設置、高校生までの医療費無償化など、新規事業が多く盛り込まれています。

また、時代の要請であるデジタル化やカーボンニュートラルの着実な推進、物価高騰や人手不足対策などを講じるとともに、大雨災害や能登半島地震を受けた防災対策を講じたことから、予算規模は前年度比46億8,000万円増の昨年度の過去最大を更新する595億6,000万円となりました。

この結果、23億円に拡大した財源不足につきましても、国県事業の積極的な導入を図り、地方財政対策を最大限に活用し、さらに公共施設等整備基金などの特定目的基金からの繰入れなど、あらゆる財源確保を図り、また将来に大きな財政負担が生じないように、後年度の償還に対し交付税措置率の高い地方債を最大限発行し、諸施策を確実に実行しようとする執行部の意気込みを評価し、賛成の討論とさせていただきます。

以上です。

○橋本委員長 よろしいでしょうか。討論を終結してお諮りします。

本案につきましては、反対の意見もございますので、挙手による採決といたします。

議案第20号について、これを承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者 挙手〕

○橋本委員長 挙手多数でございます。よって、議案第20号につきましては原案のとおり承認されました。

○橋本委員長 以上をもちまして、当委員会に付託されました案件についての審査を終了いたします。

これをもって、予算委員会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午前10時11分 閉会

防府市議会委員会条例第 30 条第 1 項の規定により署名する。

令和 6 年 3 月 18 日

防府市議会予算委員会委員長 橋 本 龍 太 郎